

令和2年11月17日

香芝市長 福岡 憲宏 様

香芝市都市経営市民会議
会長 中川 幾郎

「第5次香芝市総合計画 基本構想」策定について(答申)

令和2年6月19日付け香企第29号にて諮問のあった「『第5次香芝市総合計画』策定について」のうち基本構想(案)について、慎重に審議を重ねた結果、別添の案について適当であるとの結論を得たので答申します。なお、「まちの将来像」の実現に向けて、下記の点に留意されますよう要望いたします。

記

1. 基本構想第3章に示す7つの政策方針に基づき、33の施策が効果的に展開されることで、それぞれの目標が達成されることを期待します。
2. 香芝市においても少子高齢化が進行し、これまでになかった人口減少という重要な局面を迎えていることを職員一人ひとりが理解し、人口構造の変化による影響と課題を念頭に危機感を持って計画を推進してください。
3. 集中豪雨や地震等が頻発している近年の状況、また、令和2年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、危機事象が発生した場合の総合計画の考え方が第5章に明記されております。危機事象が発生した場合には、この方針のもと、柔軟に危機対応を進めてください。
4. 「まちの将来像」の実現には、市民・地域団体・事業者等の多様な主体が「協働していくこと」が必要不可欠です。第4章に示されていますが、第4次総合計画で推進してきた協働の姿勢が確立されたものとなるよう、第5次総合計画においてはより一層強く推進していただきますよう要望します。
また、組織における「縦割り」の考え方は排除し、複数の施策を相互に関連付け、部局間で連携して課題解決に取り組んでいただきたい。
5. 基本計画の策定にあたっては、基本構想に示す「まちの将来像」の実現に向け、実効性の高い施策展開となるようにしていただきたい。
特に、各施策に掲げる「主な取組」の指標については、現状を把握した上で、目的達成を測るのに相応しい指標、適切な目標値を設定し、常に意識しながら事業に取り組んでください。
また、令和2年に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したことで、新しい生活様式への発想転換も求められており、新たな発想と柔軟な視点で具体的施策を検討してください。

以上